

平成 24 年 4 月社名変更(平成 23 年 3 月改訂)

テバ製薬株式会社

学術情報課

粉碎物の安定性評価

品目：セルトップ錠 200

検体：890613

検体	性状	定量 ^{注1)} (%)
試験開始時 (粉碎直後)	白色の粉末であった	100
40℃ 2 週間 (遮光、PE 包装)	白色の粉末であった	100.0
40℃ 4 週間 (遮光、PE 包装)	白色の粉末であった	99.6
25℃ 75%RH 2 週間 (遮光、PE 包装)	白色の粉末であった	99.4
25℃ 75%RH 4 週間 (遮光、PE 包装)	白色の粉末であった	100.5
光 60 万 lx・hr (PE 包装)	わずかに微黄白色の粉末であった	100.3

注 1) 試験開始時を 100 とした残存率で示した。

結論

粉碎状態での安定性試験(性状、定量)を実施した。その結果、光 60 万 lx・hr 保存において、若干の性状変化を認めた。これより、本品を粉碎後、やむを得ず保存する場合には、光を避けて保存することが望ましい。

また、本品の粉碎物は強い苦みを有しているため、粉碎物での処方が必要となる場合は経管投与が望ましい。

なお、本製剤を粉碎して投与した場合の有効性および薬物体内動態の検討は実施していない。また、上記データは本製剤の分割・粉碎を推奨するものではない。